

Inclusion インクルージョン いんくるーじょん

○1年生にとって最重要の選択時期迫る！

1年生のみなさんにとって、避けては通れない文理選択（科目選択）が迫っています。1学年では、これまで自己理解を深めるため、朝テストを数学中心で実施してきました。理系・理数科を選ぶのであれば、数学と真正面から向き合わなければなりません。今の時点で数学に苦しんでいるようであれば、今後ずっと苦しむことになるかもしれません。朝テストだけでなく、これまでの実力テストや第1回定期考査、これからの第2回定期考査や進研模試の結果を参考に、自己理解を深めた上でしっかり選択してください。

ただ、それでも自分の夢を叶えるため、自分に向いてないかもしれない道（「いばらの道」）を選ぶという人がいて良いと思います。インクルージョンですから。その場合、それ相応の覚悟と努力が必要です。自分の夢がそれほどの夢なのか、この夏に夢と現実をすり合わせる必要があるのです。

【今後のスケジュール】

- 7／ 4（木） 学科選択説明会→学科選択希望調査用紙配付
- 7／ 6（土） 進研模試→自己採点の結果で判断（結果リリースは8／7）
第1回PTA1学年部会→保護者に説明 ※110名参加予定（6/19現在）
- 7／10（水） 学科選択希望調査提出締切
- 夏期休業中 三者面談→生徒・保護者・担任で最終確認
※夏期休業終了後、改めて最終確認の用紙を配付します。

◎虫おくり親善大使校として

6月15日（土）に「奥津軽虫と火まつり」が行われ、本校は親善大使校として、山車引き・ボランティア活動に参加しました。（↓山車引きをしてもらった生徒たち）





まつり当日まで、小学校を訪問し、紙芝居読み聞かせ・小松明作成の補助、本番当日に用いた松明作成の体験を行いました。生徒たちの活動の振り返りを紹介したいと思います。

【小学校訪問】

- ・地域の行事を紡いでいくことの楽しさや、大変さを知ることが出来ました。
- ・今まで虫送りに参加したことがなかったのでこのような形で参加できたことがいい経験になりました。
- ・今までしてこなかった活動に自主的に参加したことで勇気がつき、成長を感じられたからです。

【松明づくり】

- ・虫おくりという祭りに正直興味はありませんでした。しかし、たいまつ作りが終わった後、虫送りという文化を継承する人の営みに自分も貢献できたことが嬉しく思い、達成感を感じました。知らないことを経験することが自分にとってどれほど大切なものなのかを実感しました。
- ・活動前はボランティアだし正直めんどくさい気持ちがあったけど、活動後は地域に貢献できたという気持ちが強くなり、誇りを持って仕事することができました。
- ・やる前はそんな大変なのか？と思っていたけど、実際にやってみたらすごく大変で疲れることがわかり、毎年このたいまつなどをたくさん作ってる人たちがすごいと思った。

【虫おくり本番】

- ・祭りなどの行事は今までにはただ遊ぶために参加していましたが、意味を知り、自分が運営側になる事で、大変さと同時に祭りの重要性、地域にどのような作用を与えているかを身近に感じる事ができた。